

今週のテーマ

1. 一週間のまとめ

(1) [与党陣営の動き](#)

～大統領選候補8名 合意書に署名～

..... 1p

(2) [野党陣営の動き](#)

～野党市長らの公職権停止相次ぐ～

..... 2p

(3) [外国の動き](#)

～Barclays 銀行 政権交代に期待～

..... 3p

(4) [今週、来週の主なイベント](#)

..... 4p

(5) [債券の元利不払い状況](#)

..... 5p

2. [CNE が署名を求めた合意書の内容](#)

..... 6p

3. [野党が合意書に署名できない](#)

[3つの理由](#)

..... 8p

債券指標の動き

4. [ベネズエラ債券・経済指標の増減](#)

..... 10p

カントリーリスク分析



Prensa Presidencial @PresidencialVen · Jun 21

#EnFotos 📷 En sus declaraciones a los medios de comunicación, desde el CNE, el presidente @NicolasMaduro destacó que la firma del acuerdo para el respeto de los resultados del próximo 28 de julio, es una firma por la no violencia.



18 165 241 4.4K

(写真) 大統領府

“大統領選候補8名 選挙結果を受け入れる合意書に署名”

一週間のまとめ (2024年6月16日～6月22日)

(1) 与党陣営の動き ～大統領選候補8名 合意書に署名～

6月20日 「選挙管理委員会 (CNE)」は、大統領選に出馬している候補者10名を召集。

「2024年7月28日の大統領選の結果を認識する合意」という合意書の署名式を開催した。

結果的にこの合意書に署名したのは候補者10名のうち8名。

「野党統一連合 (MUD)」から出馬しているエドムンド・ゴンサレス候補と、独立野党「Centarados」から出馬しているエンリケ・マルケス候補は合意書に署名をしなかった ([「ベネズエラ・トゥデイ No.1079」](#))。

POINT

（同合意書に書かれている内容は、本稿「[2. CNE が署名を求めた合意書の内容](#)」を参照されたい）。

なお、マルケス候補は、元々は主要野党の一角「新時代党（UNT）」の役員を務めていた人物で、MUD の中核を担っていた人物の1人である。

マルケス候補は、MUD と協調して行動しており、万が一ゴンサレス候補の出馬が禁止された場合の第2のオプションになるため候補者として名前を残しているのが実態と言える。

CNE 大統領選候補者

に対して合意書への署名を要求。

CNE のエルビス・アモロン代表は「合意書に署名しない候補者は、選挙プロセスをボイコットしている」「彼らは7月28日の大統領選を不安定化し、選挙結果を認めたくないと考えている」とコメント。ゴンサレス候補とマルケス候補を批判した。

ゴンサレス候補とマルケス候補は署名を拒否。

現時点で合意書に署名しなかったことがどのような結果をもたらすかは未知数だが、最悪のシナリオは両名の大統領選出馬が禁止されることであるのは間違いないだろう。

(2) 野党陣営の動き ～野党市長らの公職権停止相次ぐ～

ここ最近、マドゥロ政権による野党政治家への圧力が一層強まっている印象がある。

CNE 代表 「署名しなかった候補者は、選挙プロセスをボイコットしている」と批判。

今週はヌエバ・エスパルタ州、トゥルヒージョ州の野党系市長2名が公職権停止措置を受けたことが明らかになった（理由は不明）。

2つの州は、先日マリア・コリナ・マチャド氏（以下、MCM）が遊説に出かけた州であり、野党側の選挙キャンペーンを妨害する意図があると指摘されている。

他にも、MCM 氏の選挙キャンペーンに関与したとされる地方市議らも解任されたという報道も散見されている。また、タチラ州の野党系市長が汚職容疑で逮捕されたとも報じられている。

POINT

マドゥロ政権による野
党関係者への圧力が強
まる。

英国バークレイズ銀行
野党が政権交代を達成
できる可能性があるとの
レポートを公表。

“マドゥロ政権内に不
満因子があり、全てを
自由にすることはでき
ない”と指摘。

他、MCM 氏を党首とする「Vente Venezuela」の党员らの拘束について、サブ検事総長は「治安維持部隊に攻撃的な振る舞いをして、軍人に怪我を負わせようとしたため拘束した」と説明。

拘束の原因は彼らの振る舞いにあると主張しているが、野党側はマドゥロ政権による政治的な迫害と反論している。

野党側のメディア戦略的な要素もあるのかもしれないが、選挙を取り巻く環境が平和的な雰囲気ではないことは間違いないだろう。

(3) 外国の動き ～Barclays 銀行 政権交代に期待～

6月20日 英国の「Barclays 銀行」のアナリスト Alejandro Arreaza 氏および Jazon Kleene 氏は、ベネズエラの大統領選に関するレポートを公表。「ベネズエラの大統領選で政権交代の可能性が十分にある」との見解を示した。

大統領選を取り巻く環境について、「様々なリスクがある一方で、ポジティブな状況」と指摘。

マドゥロ政権は、政権維持のために採りうる「① 選挙を延期する」「② ゴンサレス候補の出馬を禁止する」「③ 不正選挙を行う」の3つの選択肢の中で、「③ 不正選挙を行う」を選んだと認識。この選択はマドゥロ政権にとってリスクが高く、政権交代の可能性があるとしている。

また、大統領選について「平等でも自由でもないが、マドゥロ政権が当初の戦略としていた“野党を分裂させ、有権者の投票意思を減退させる”という作戦はゴンサレス候補が野党統一候補に選ばれたことで失敗した」と指摘。

他、「マドゥロ政権は、政府としての有利性を乱用することは可能だが、与党内で現状に不満を持つ因子があり、全てを自由にできるわけではなく、政権交代に向けた協議を余儀なくされる可能性がある」との見解を示した。

また、経済テーマについて「マドゥロ政権の存続よりも政権交代を望むグループの方が大きい」と指摘。政権交代は制裁解除を引き出し、ベネズエラの経済は数年で大きく回復する可能性があるとの指摘。逆にマドゥロ政権が存続した場合、債務再編は遅れ、リカバリーバリュは低減するだろうとした。

(4) 今週、来週の主なイベント

6月24日(月曜)は「カラボゴ戦闘記念日」で国民の祝日になる。

また、6月29日に米国の非営利団体「カーターセンター」の選挙監視団がベネズエラに到着するようだ。カーターセンターの選挙監視団派遣は、バルバドス合意で交わされた約束事の1つで、同団体の派遣の意義は小さくない。ただし、カーターセンターの発表によると、同団体は今回の選挙について「投票の仕組み、人権を尊重した選挙だったのかどうかを分析する」としており、実際の投票数のカウントには立ち会わず、投票結果の証人にはならないという。

大統領選が延期されるのではないかとの憶測は未だに報じられているが、マドゥロ政権・CNE役員らは7月28日に投票を実施する意思を繰り返し示しており、恐らく予定通り実施されるだろう。選挙まで残り1か月ほどに迫り、極めて重要な局面に入っていると言えそうだ。

表： 6月16日～6月22日に起きた主なイベント

日付		内容
6月	16日 日	
	17日 月	
	18日 火	与党国会 Chevron合併会社Petropiarの事業15年延長を承認
	19日 水	
	20日 木	CNE 合意書の署名式を開催
	21日 金	
	22日 土	

表： 6月23日～6月30日に予定されている主なイベント

日付		内容
6月	23日 日	
	24日 月	カラボゴ戦闘記念日 国民の祝日
	25日 火	CNE 投票機の機能確認を実施
	26日 水	
	27日 木	
	28日 金	
	29日 土	カーターセンター選挙監視団 ベネズエラに到着予定
	30日 日	模擬選挙

(5) 債券の元利不払い状況

表：ベネズエラ債券の債務不履行額（6月21日時点）

（単位：100万ドル）

種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
国債	国債19	19年10月13日	7.75%	4/13 10/13	2,495	1,353.5	3,848.5
	国債24	24年10月13日	8.25%	4/13 10/13	2,495	1,440.9	3,935.9
	国債25	25年4月21日	7.65%	4/21 10/21	1,600	918.0	2,518.0
	国債26	26年10月21日	11.75%	4/21 10/21	3,000	2,291.3	5,291.3
	国債23	23年7月5日	9.00%	1/5 7/5	2,000	1,170.0	3,170.0
	国債28	28年5月7日	9.25%	5/7 11/7	2,000	1,295.0	3,295.0
	国債18	18年12月1日	7.00%	6/1 12/1	1,000	490.0	1,490.0
	国債20	20年12月9日	6.00%	6/9 12/9	1,500	630.0	2,130.0
	国債34	34年1月13日	9.38%	1/31 7/13	1,500	914.1	2,414.1
	国債31	31年8月5日	11.95%	2/5 8/5	4,200	3,262.4	7,462.4
	国債18	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	300	265.7	565.7
	国債18F	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	752	666.0	1,418.0
	国債22	22年8月23日	12.75%	2/23 8/23	3,000	2,486.3	5,486.3
	国債27	27年9月15日	9.25%	3/15 9/15	4,000	2,405.0	6,405.0
	国債38	38年3月31日	7.00%	3/31 9/31	1,250	568.8	1,818.8
グレースピリオド満了未払					31,092	20,156.7	51,248.7
種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
PDVSA債	PDVSA26	26年11月15日	6.00%	5/15 11/15	4,500	1,890	6,390.0
	PDVSA24	24年5月16日	6.00%	5/16 11/16	5,000	2,100	7,100.0
	PDVSA21	21年11月17日	9.00%	5/17 11/17	2,394	1,508	3,902.2
	PDVSA35	35年5月17日	9.75%	5/17 11/17	3,000	2,048	5,047.5
	PDVSA220	22年2月17日	12.75%	2/17 8/17	3,000	2,486	5,486.3
	PDVSA27	27年4月12日	5.38%	4/12 10/12	3,000	1,129	4,128.8
	PDVSA37	37年4月12日	9.75%	4/12 10/12	1,500	1,024	2,523.8
	PDVSA22	22年10月28日	6.00%	4/28 10/28	3,000	1,260	4,260.0
	PDVSA20	20年10月27日	8.50%	4/27 10/27	1,684	1,002	2,685.7
グレースピリオド満了未払					27,078	14,446.3	41,524.1
	電力債18	18年4月10日	8.50%	4/10 10/10	650.0	359.1	1,009.1
グレースピリオド満了未払					650.0	359.1	1,009.1
合計					58,820	34,962	93,782

（出所）Av Security よりベネインベストメント作成

POINT

2. CNE が署名を求めた合意書の内容

本稿「[1. \(1\) 与党陣営の動き](#)」で紹介した通り、CNE は選挙結果を受け入れる趣旨の合意書の署名式を行った。

この合意書には、どのような内容が書かれているのだろうか。

以下に CNE が署名を求めた合意書の日本語訳を紹介したい。

なお、赤字の部分は野党側が受け入れられなかったと思われる部分である。

2024年7月28日の大統領選の結果を認識する合意

CNE が大統領選候補ら
に署名を求めた合意書
の内容を日本語に翻
訳。

2024年7月28日(日曜)に行われるベネズエラの大統領選に候補者として参加する我々、ルイス・エドゥアルド・マルティネス、ダニエル・セバジョス、アントニオ・エカリ、ベンジャミン・ラウセオ、エドムンド・ゴンサレス、ホセ・ブリト、クラウディオ・フェルミン・マルドナド、ハビエル・ベルトゥッチ、エンリケ・マルケス、ニコラス・マドゥロは、ベネズエラの自国主権は国民が「選挙管理委員会(CNE)」による投票を通じて行使するとの信念を持ち、ベネズエラ憲法に準じた CNE の正当な代表の立会いの下で、CNE 本部にて以下の通り宣誓する。

第1項： ベネズエラ憲法、選挙組織法、選挙手続法、その他選挙に関する法律に厳格に従い行動する。

第2項： 選挙権力が唯一、2024年7月28日の大統領選の監視と運営と管理を行う正当な公権力であると認識する。

第3項： CNE はこれまで選挙スケジュールに定められた全てのフェーズで選挙保証を履行してきたことを認識する。同時に選挙当局が発表する結果が、バルバドス合意・カラカス合意に準じる投票による国民の意志を表明した結果であることを保証する。

第4項： 平和的で民主参加的な環境の下で2024年7月28日の大統領選を争い、大統領選後に国民の意志を否定し、ベネズエラ国内で暴力により国を不安定化させない。

POINT

第5項： 全世界の政府に対して、自国主権を尊重するよう要請すると同時に、我が国の独立した決定を尊重するよう要請する。

第6項： 祖国を守る義務を順守し、崇高なベネズエラ国民に対して一方的に科している制裁を完全に解除するよう要請する。

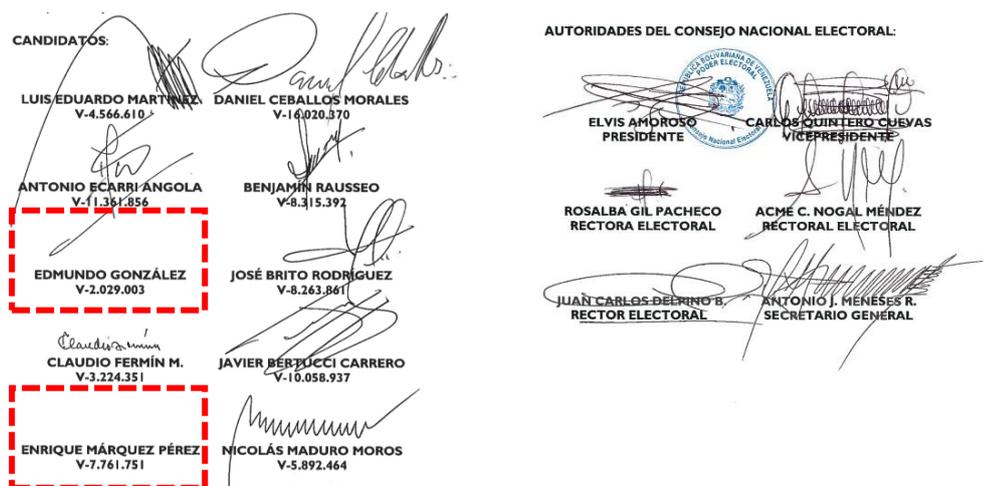
第7項： この合意の目的は、国家主権の肯定、民主主義の安定、人権の完全な尊重、選挙プロセスの尊重、我が国の経済・社会に対する協力、憲法で謳う国家の権利の尊重、政治権の完全な進展、民主主義、共存と調和のための政治繁栄、政治の道具としての暴力の完全な拒絶を表明することにある。

第8項： 違法な手段により国内外から入ってくる全ての資材・資金を拒絶し、非難する。

第9項： 我々、大統領選候補者は、全てのベネズエラ国民および CNE 役員に対して、民主主義とベネズエラ憲法に準じる我々の責任を誓う。加えて、国民が意思を表明する投票を通じて公職者を決める源泉となる選挙当局が発表する選挙の結果を完全に認識する意思を表明する。

ベネズエラ独立宣言から214年、ベネズエラ連邦設置から165年が経過した2024年6月20日、カラカスのCNE本部にて署名する。

MUD から出馬したエドムンド・ゴンサレス候補と Centrados から出馬したエンリケ・マルケス候補の署名欄にサインがされていない。



※ 合意書はゴンサレス候補、マルケス候補の署名欄が空白になっている

POINT

3. 野党が合意書に署名できない3つの理由

「[1. \(2\) 野党陣営の動き](#)」の通り、エドムンド・ゴンサレス候補は、選挙結果を認めるという点については、バルバドス合意第3項12で合意していると説明。改めて、上記の合意書に署名する必要はないとの見解を示している。

バルバドス合意の具体的な内容は「[ウィークリーレポート No.360](#)」で紹介しているが、確かに「12. 大統領選の結果を受け入れる」という文言がある。

ただし、野党側がこの合意書に署名できない理由は「大統領選の結果を受け入れる」という点が含まれているからではなく、後述する3点が書かれているからである。

1つ目の問題は、第3項「CNE はこれまで選挙スケジュールに定められた全てのフェーズで選挙保証を履行してきたことを認識する。同時に選挙当局が発表する結果が、バルバドス合意・カラカス合意に準じる投票による国民の意志を表明した結果であることを保証する」だろう。

この合意書に署名することは、「これまでの CNE の選挙プロセスに問題がなかった」とお墨付きを与えることを意味する。

しかし、「[ウィークリーレポート No.360](#)」でも触れたように MCM 氏およびゴンサレス候補は、マドゥロ政権および CNE によるバルバドス合意違反を主張しており、合意書に書かれている内容は野党側の主張と矛盾している。

これに加えて、この合意書には野党にとって2つの問題がある。

2つ目は「不当選挙だった場合に、支持者を巻き込んだ抗議を行う可能性を排除することが約束されている点」。

3つ目は「制裁の完全解除を要請している点」である。

2点目に関して、合意書では「大統領選後に国民の意志を否定し、ベネズエラ国内で暴力により国を不安定化させない」ことが定められている。

しかし、仮に野党が「不当選挙が行われた」と認識した場合、野党は抗議デモを呼びかけることになる。

ゴンサレス候補がこの合意書に署名することは、3つの点については、3つの点について約束することを意味する。

1つ目は、「これまでの選挙プロセスに問題がなかったとお墨付きを与えること」

POINT

2つ目は「選挙結果に抗議する可能性を放棄すること」

抗議デモを行えば、必ず支持者の間で衝突が起き、暴力的な事件が起きることは想像に難くない。また、双方の衝突が激化することで社会が不安定化することも避けられない。

この合意書に署名することは、実質的に選挙結果に抗議する権利を放棄することであり、野党側が受けられるはずはないだろう。

3点目に関して、合意書には「**ベネズエラ国民に対して一方的に科している制裁を完全に解除するよう要請する**」と書かれているが、この制裁は野党側が国際社会に求めたものであり、野党は「制裁はマドゥロ政権と交渉するためのツール」と認識している。

そもそも野党側は「諸外国が科している制裁は、ベネズエラ政府に対して科している制裁であり、国民に対する制裁ではない」との認識を示しており、ゴンサレス候補も同様の認識を示している（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1076」](#)）。

その意味でも、この合意書に書かれている内容は野党側のスタンスと大きく異なる。

3つ目は「制裁の完全解除を求めると同時に制裁の対象者が国民であると認めること」

つまり、この合意書に署名することは「大統領選の結果を受け入れる」という点以外に

1. マドゥロ政権および CNE がバルバドス合意を順守していると認めること
2. 選挙後に抗議デモを呼びかけないと誓うこと
3. 欧米が科している制裁は国民に対する制裁であることを認める（野党が自国民を攻撃するよう諸外国に求めたことを認める）と同時に、制裁の完全解除を求めること

に関して同意することを意味している。

野党側が、これら3点を受け入れることはできないだろう。

従って、ゴンサレス候補がこの合意書に署名する可能性は限りなく低いと言える。

4. ベネズエラ債券・経済指標の増減（6月21日時点）

銘柄	利率	満期	BID	ASK	平均	先週比
2018-I	13.625	2018/8/15	17.9	19.15	18.53	1.65
2018-II	13.625	2018/8/15	18.65	19.85	19.25	0.79
2018	7	2018/12/1	13.65	14.95	14.30	1.96
2019	7.75	2019/10/13	14.05	15.4	14.73	2.79
2020	6	2020/12/9	13.55	14.9	14.23	1.97
2022	12.75	2022/8/23	17.85	19.1	18.48	1.93
2023	9	2023/7/5	15.95	17.2	16.58	1.84
2024	8.25	2024/10/13	15.1	16.25	15.68	2.28
2025	7.65	2025/4/21	14.95	16.15	15.55	2.13
2026	11.75	2026/10/21	18	19.15	18.58	2.77
2027	9.25	2027/9/15	18	19.2	18.60	2.48
2028	9.25	2028/5/7	16.1	17.25	16.68	0.91
2031	11.95	2031/8/5	18.15	19.25	18.70	2.05
2034	9.375	2034/1/13	18.3	19.45	18.88	2.72
2038	7	2038/3/31	14.5	15.75	15.13	1.17
電力債 2018	8.5	2018/4/10	7.05	8.45	7.75	△ 1.27

	利率 %	満期	BID	ASK	平均	先週比
2020	8.5	2020/10/27	74.85	76.55	75.70	0.30
2021	9	2021/11/17	11.9	13.15	12.53	1.62
P 2022	12.75	2022/2/17	14.05	15.15	14.60	0.17
D 2022(N)	6	2022/10/28	8.55	9.8	9.18	7.62
V 2024	6	2024/5/16	11.25	12.4	11.83	0.64
S 2026	6	2026/11/15	11.4	12.5	11.95	1.49
A 2027	5.375	2027/4/12	11.45	12.45	11.95	1.49
2035	9.75	2035/5/17	13.05	14.3	13.68	1.11
2037	5.5	2037/4/12	11.25	12.3	11.78	0.21

	百万ドル	先週比
外貨準備	10,227	△ 0.17

為替レート	ボリ/ドル	先週比
両替テーブル	36.37	△ 0.13
並行レート	40.81	1.97

（出所）Avsecurity、ベネズエラ中央銀行、Dolar Today

解説

「1.（3）外国の動き」で紹介した通り、英バークレイズ銀行が大統領選についてポジティブなレポートを出したことで、国債・PDVSA社債の買いが増加。

ベネズエラ債は国債・PDVSA社債ともに先週比プラスに推移した。

ただし、カラカス電力社債のみ先週比微減となっている。

為替レートは、引き続き公定レート（両替テーブル）と並行レートの差が拡大している。

以上